

# 新秋芳総合支所庁舎等複合施設に関する 市民ワークショップ便り

No.4

2022.5.26

## 第4回市民ワークショップを開催しました

※ワークショップとは、グループに分かれて意見やアイデアを出し合い、考えをまとめていく話し合いの手法のことです。

新秋芳総合支所庁舎等複合施設の整備については、昨年1月に基本設計を策定し、建物の基本的な構成や配置などをお示しました。

昨年度は、この基本設計をもとに3回にわたるワークショップを開催し、住民の皆様から活発なご意見をいただきました。

今年度に入り、実施設計業務の受託業者が決まり、3回のワークショップで出た意見等を反映した実施設計の素案ができ上がりました。第4回以降のワークショップは、この実施設計素案(見開き参照)に対する皆様の意見をお聞きするとともに、新施設の使い方を一緒に考えていくこととしています。

第4回目のワークショップでは、実施設計の受託業者である㈱龍環境計画から実施設計の素案が示され、基本設計からの変更点等の説明がありました。その後 23名の参加者が5グループに分かれて、5つの視点(「住民が気軽に集まる居場所」「観光客等外部との交流や情報の拠点」「複合している施設としてのメリットを活かしているか」「ふれあい祭り等イベント時の使い方」「災害時の避難場所」)により、素案に対する評価や意見を出し合いました。

5回目以降からの参加も大歓迎です。たくさんの方のご参加をお待ちしています。

### ◆第4回(5月10日)のようす



市の担当者から、ワークショップの内容と目的について説明しました



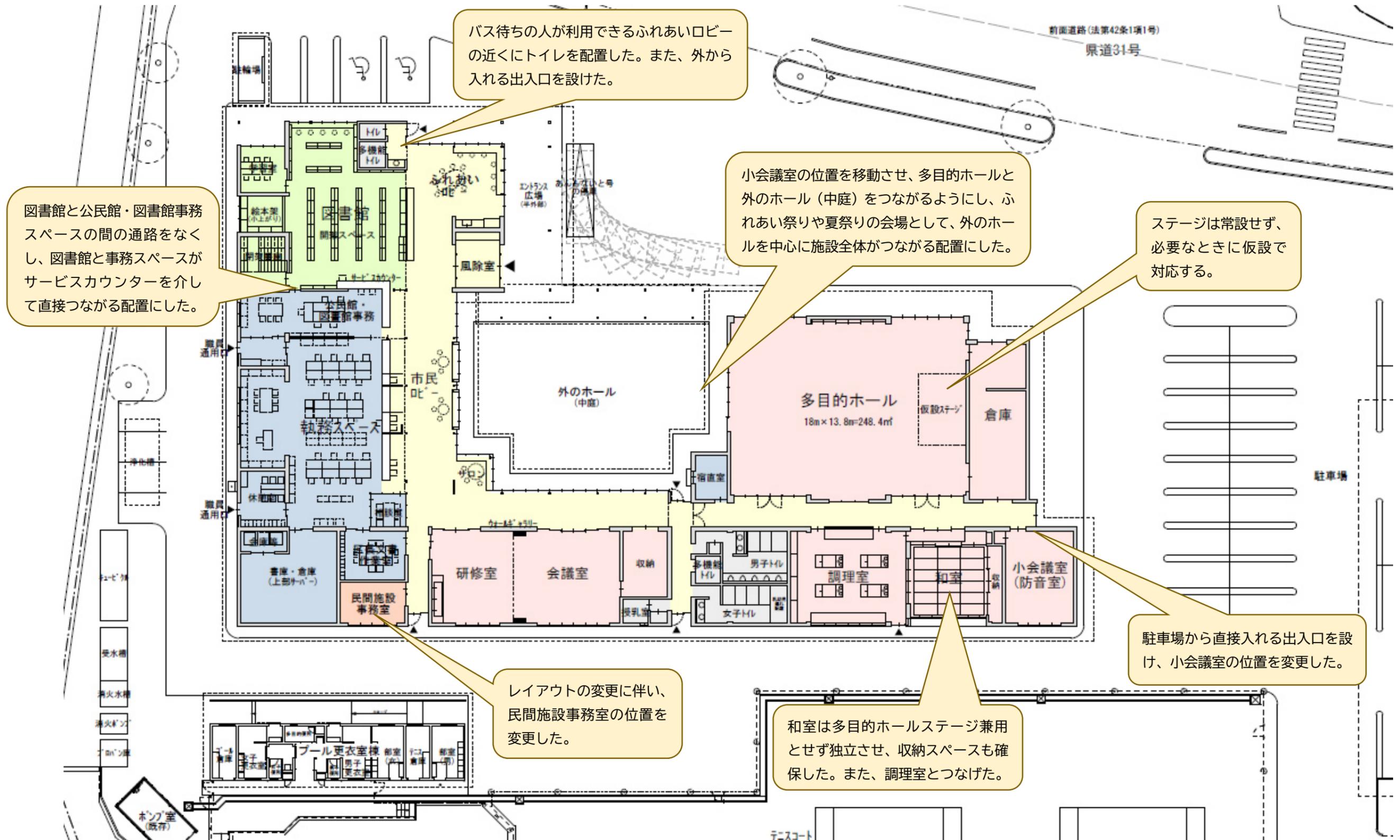
実施設計を担当する㈱龍環境設計の内田代表から、実施設計素案についての説明がありました



最後に、各グループのリーダーが、話し合いの内容を発表しました

# 新秋芳総合支所庁舎等複合施設に関する市民ワークショップ 第1回から第3回までの意見等をふまえ、基本設計を見直した実施設計素案

※吹き出しは、基本設計からの主な変更点です



この実施設計素案に基づき、複合施設整備を進めていきます

## ◆グループワークで出てきた素案に対する評価・主な意見

### 住民の居場所

・ふれあいロビーに子どもが遊べるような遊具等があると親子で訪れやすい。

- ・中庭は、子どもが遊びまわっても良いように芝生が良い。手入れが簡単な人工芝が良い。
- ・ここに来れば情報が手に入るという仕組みができると良い。
- ・メインエントランスは分かりやすい方が良い。軒下から真っすぐ入れた方が良い。
- ・これから施設を運営していくための仕組みづくりが大切。

### 外部との交流・情報の拠点

・フリーWi-Fiの整備。タブレットの設置。  
・土日に行事・イベントを開催し交流。

- ・大型ディスプレイで、観光案内や季節の映像(秋吉台・弁天池など)を流してPRする。
- ・観光案内ができる機能を。(観光協会、観光案内所を新複合施設に設置。)
- ・特産品を紹介するコーナーの設置。多目的ホール等を利用して特産品販売の日をつくる。

### 複合しているメリットを活かしているか

- ・総合支所・図書館・公民館がうまく独立した設計になっている。人の動線が良くなった。
- ・図書館には職員が必要。17時以降も開けてほしい。
- ・交流の中心になる人をどう育てていくか、人づくり、グループづくりが必要。

### ふれあい祭り等イベント時の使い方

- ・多目的ホールと中庭がフラットになっていると使いやすい。
- ・キッチンカーが乗り入れできるように。
- ・多目的ホールと中庭でイベントをする場合、バス乗り入れに配慮が必要。
- ・多目的ホールで野菜売ると良い。

### 災害時の避難場所

- ・大雨災害時は浸水しないか。水害のときはアクセスも不能になる。その場合は小学校・中学校が避難場所の中心になるのでは。
- ・水害のときは情報センターとしての役割を担うほうに適している。
- ・水害以外の災害では施設として十分な機能はある。
- ・災害時の備品を納めておくための十分なスペースが必要。

## 新秋芳総合支所庁舎等複合施設に関する 第5回市民ワークショップのお知らせ

日時：令和4年6月7日(火) 18:30～  
場所：秋吉公民館 大会議室

### 第5回の内容

○図書館、ふれあいロビーのつながり

★5回目からの参加も大歓迎です！

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、マスクの着用をお願いします。

※発熱等の風邪の症状が見られる方、体調が優れない方は、参加をお控えください。

申し込み不要  
どなたでも参加OK

### 【問合せ先】

美祢市秋芳総合支所 総合窓口班  
〒754-0601 美祢市秋芳町秋吉 5335-1  
TEL 0837-62-1910  
FAX 0837-62-1828  
Mail s-sogomadoguchi@city.mine.lg.jp

## 美祢市の図書館の利用現状

美祢市の図書館の利用登録者数や蔵書数、貸出数の比率等（美祢市立図書館、美東図書館、秋芳図書館の合計数）を算出しました。公開されている県内の市町の図書館の統計資料（注1）から算出した、平均値と比較し、美祢市の図書館の利用状況を整理しました。

「日本の図書館 統計と名簿2020」参照

項目	山口県内の市町の平均値	美祢市 (3館の合計値)	美祢市立 美祢図書館	美東図書館	秋芳図書館
①人口(人)	76,600	25,000	-	-	-
②登録者数(人)	46,000	4,800	3,700	400	700
登録者数割合(%) ②÷①×100	60.0	19.2	-	-	-
③蔵書数(冊)	317,000	184,000	123,000	31,000	31,000
1人当り蔵書数(冊) ③÷①	4.14	7.36	-	-	-
④貸出数(冊)	446,000	69,000	60,000	500冊未満	9,000
1人当り貸出数(冊) ④÷①	5.82	2.76	-	-	-
利用者1人当り貸出数(冊) ④÷②	9.70	14.38	-	-	-
⑤職員数(人)(注2)	31	9	4	2	3
1000人当り職員数(人) ⑤÷①×1,000	0.40	0.36	-	-	-

①～④の数値は、概数とする  
 (注1) 「日本の図書館 統計と名簿2020」を基に、公開されている県内の18市町の平均値を算出  
 (注2) 職員数に関しては、専任、兼任、非常勤を合わせた数値とする

美祢市の**市民1人当たりの蔵書数(7.36冊)**は多いが、**市民1人当たりの貸出数(2.76冊)**は低い数値となっています。その原因として、**市内人口に対して利用登録者数の比率(19.2%)**が低いことが考えられます。

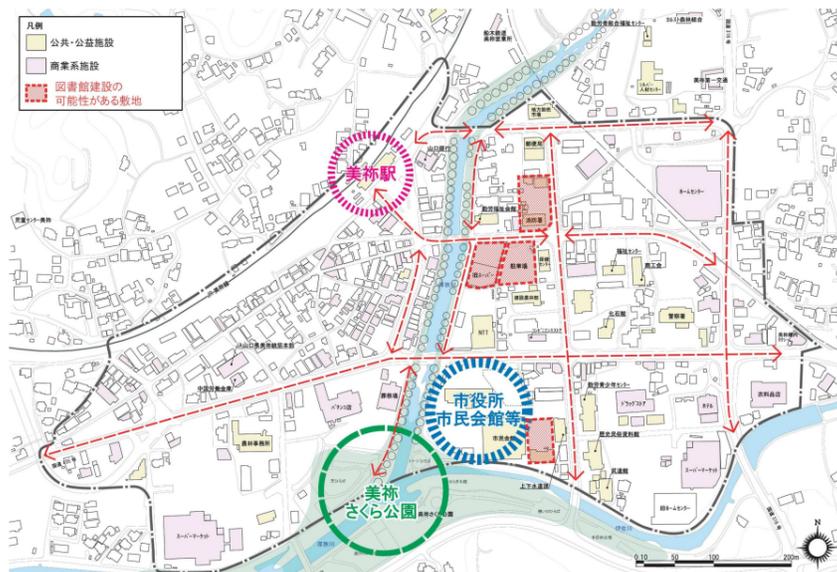
一方で、**利用登録者1人当たりの貸出数は(14.38冊)**と多いことから、利用登録者は日常的に図書館を利用していることが分かります。

また、図書館に配置されている職員数に関しては、**市民1,000人当りの職員数は(0.36人)**となっており、図書館専門の職員の確保が課題であると考えられます。

## 関連する他の機能との融合、複合化の検討

美祢市民のくらしの身近に寄り添う図書館は、社会教育施設、福祉施設など、関連する他の機能と融合したり、複合化したりすることで、利便性がより高まり、中心市街地の賑わいの再生にもつながることが期待できます。今後、まちづくりの視点を踏まえ、建設場所及び複合化のあり方など総合的な検討を加える必要があると考えられます。

### 新しい美祢市立図書館の建設の候補地

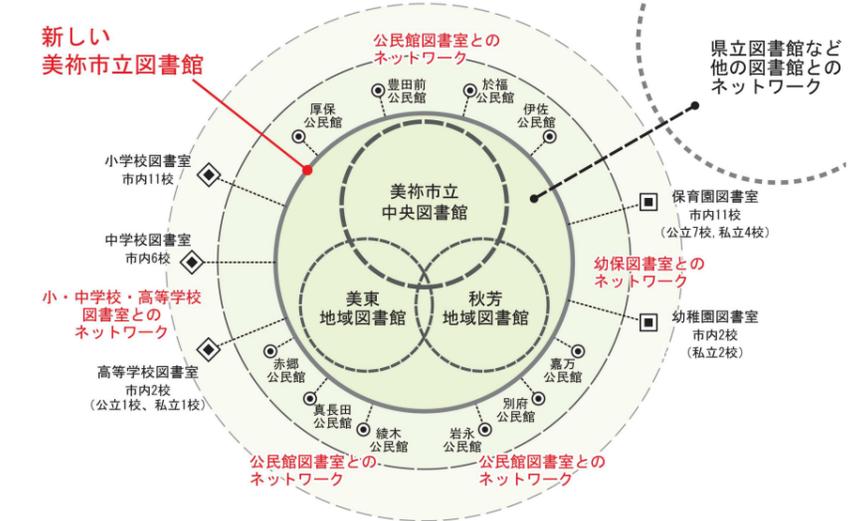


## 新しい美祢市立図書館の施設整備に関する考え方

### 1) 中央図書館と2つの地域図書館を中心とする、システムとしての図書館

美祢市立図書館・美東図書館・秋芳図書館の3つの図書館がそれぞれ同じような機能や運営内容を求めるのではなく、美祢図書館を**中央図書館**と位置づけ機能の充実を図り、美東図書館、秋芳図書館は、それぞれの地域の特徴を踏まえた上で、地域住民の居場所となる個性を持った**地域図書館**として整備します。さらに、各地区の公民館図書室、小学校・中学校・高等学校の学校図書室、および、保育園、幼稚園の図書室が、緊密な連携を図り、全体がひとつのシステム「**美祢システム**」として働く図書館づくりを進めます。

#### 新しい美祢市立図書館の構成



### 2) ICT環境の整備

図書館をひとつのシステムとして円滑な運営を図るためには、検索システム、予約システム、など、誰にとっても使いやすいよう運用されることが重要であり、そのために必要なICT環境の整備を進めます。

## 新しい美祢市立図書館の利用イメージ物語

中央図書館、2つの地域図書館、各公民館図書室、小・中学校・高等学校図書室、幼・保図書室、が一つのシステムとして動くようになった時、図書館は、市民のくらしの中でどのように活用されるのか？そのイメージを紹介します。

#### 利用物語イメージ1

0歳児健診の際に催されていた、ブックスタートで絵本をいただきました。今まで、どのような本を読んでもあげたらよいか分からなかったのが、とても助かりました。自分で絵本を借りてみようと思い、図書館に足を運んでみると、司書の方が丁寧に相談にのって下さいました。子ども図書コーナーでは、読み聞かせの会が行われていたり、カフェには、子ども連れでお茶を飲んでいる親子が何組もいて、図書周りの空間で子供を遊ばせることもできました。最近県外から引っ越してきたばかりですが、小さい子連れでホッとする空間が見つかって元気が出てきました。

#### 利用物語イメージ2

学校で「美祢市で採掘された石灰岩の行方」について調べました。家の周りに石灰岩を採掘している山はよく見かけていますが、石灰岩が採掘された後どうなるのか考えたことはありませんでした。中央図書館のレファレンスで相談したら、石灰岩を掘り出した後、セメントなどに加工されていく過程についての分かりやすい資料が、近隣の宇部市図書館にあるということがわかり、取り寄せてもらいました。みんなで手分けして調べると美祢市、山陽小野田市、宇部市は、石灰岩を通じて、とても強いつながりがあり、一緒に発展してきた町であることがわかりました。



#### 利用物語イメージ3

テレビの健康情報番組を見ていると、ゲストで出演されていた先生が、心と体と食事の関係について分かりやすく解説されていました。家事をしながら見ていたので、肝心なところを聞き逃してしまいました。番組の中で、先生が書かれた本の紹介もありましたがタイトルもわからなくなっていましたので、お昼の散歩のついでに中央図書館に行って相談したところ、書名がわかりました。出版されたばかりの本でまだ図書館には入っていないとのことでしたので、リクエストをしました。先週、夫が県立図書館から取り寄せを依頼していた本が届いていましたので、ついでに借りて帰りました。

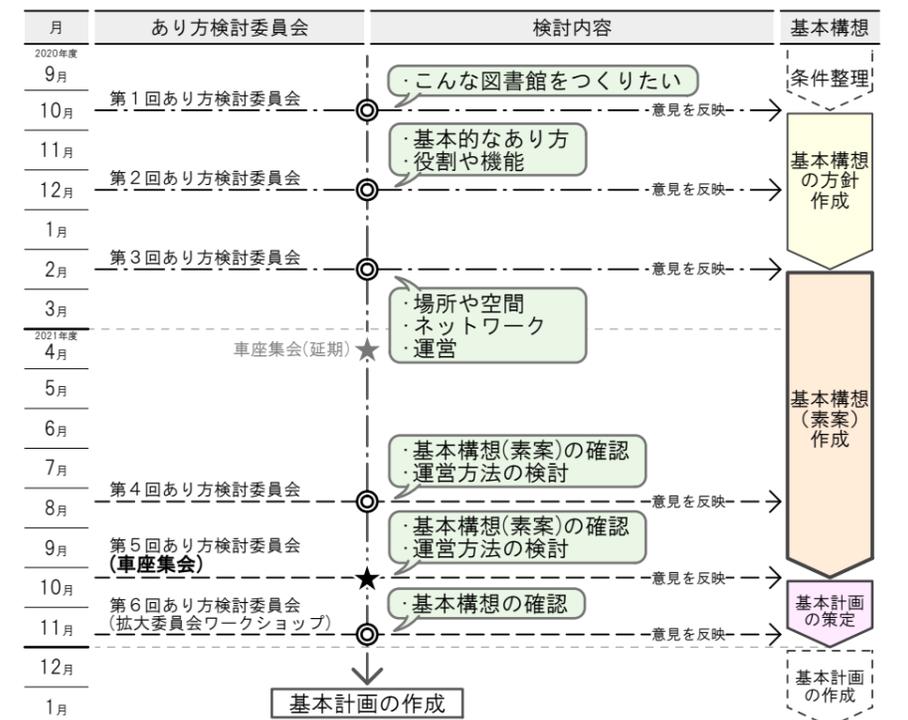
歴史(おかし)をたずね、  
現在(いま)を知り、  
未来(あした)を育む、  
わたしたちの「ひろば」



問い合わせ先：美祢市立美祢図書館 tel 0837-52-0213

## 基本構想策定の流れ

これまで、「美祢市立図書館あり方検討委員会」をワークショップ形式で計6回開催し、広く市民の意向を取り入れながら、わたしたちが目指す新しい図書館の基本構想をつくりあげました。



## 新しい美祿市立図書館が担う5つの役割

新しい美祿市立図書館づくりの基本理念を実現するために図書館が担うべき「役割」を5つに整理しました。

### 役割1 資料や情報をわかりやすく提供する

- すべての市民に資料や情報をわかりやすく提供します。
- 資料や情報とそれを必要とする人を結びつけるレファレンスサービスを用意します。
- 世代を超えて、生涯を通じた学びができる環境を備えます。
- 地域のくらしの情報を細やかに発信します。

### 役割2 多様な学びの活動を支援する

- 地域の特性を生かした体験型の学びやサークル活動を、市民協働で実践します。
- 資料や情報の提供と関連して、講習会や研修会など、様々な文化活動を展開します。
- 子どもの図書を充実させ、読み聞かせなどの活動を通じて、本に親しむ環境を整えます。
- 静かな学習室や読書室、少人数で調べもの学習などのアクティブラーニングに対応できる場所などを設けます。



### 役割3 地域のくらしを支える

- 市民が抱える様々な課題を共に発見し、解決するための支援を用意します。
- 市民の新しい活動へのチャレンジを支援する仕組みを用意します。
- 高齢者のくらしを支援するための本や情報などを用意し、「誰も一人にさせないまちづくり」に貢献します。



### 役割4 地域の歴史と魅力を伝える

- 3億5千万年前から続く特異な大地の上に展開してきたまちであることの個性や魅力を理解するための情報発信を工夫します。
- 秋芳洞、秋吉台など、ジオパークなどに関連する資料をどこよりも充実させます。
- 博物館や資料館、化石館などにつながるレファレンスや展示の提供により、地域固有の文化を広く発信します。



### 役割5 楽しいみんなの居場所を提供する

- 市民が目的もなくふらっと立ち寄り、ゆったり過ごせる場所を用意します。
- 子ども達が安心して、安全に過ごせる「子どものシェルトー」となる場所を設けます。
- 講習会など、さまざまなイベントができる場所を提供します。
- 世代や地域を超えた交流の拠点となる場所を設けます。

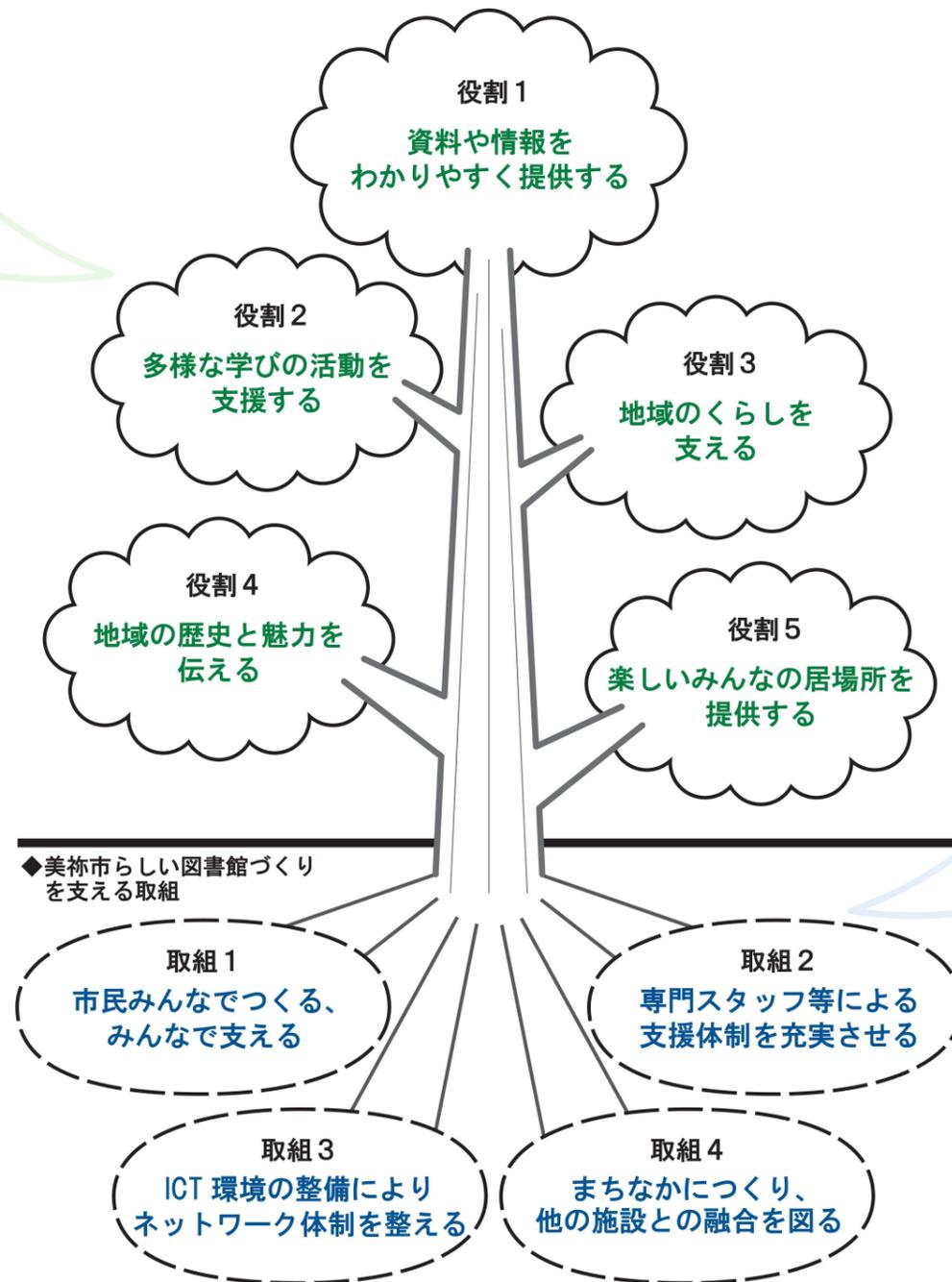


## 基本理念

- 歴史(むかし)をたずね、** 美祿市固有の歴史や文化を訪ね、その知恵に学び、  
**現在(いま)を知り、** 世界の最新知識や情報を用意し、市民の学びに寄り添い、  
**未来(あした)を育む、** 次世代を担う子どもの学びや、市民の活動を応援し、  
**わたしたちの「ひろば」** 誰もが気軽に立ち寄れる「ひろば」を目指します。

## 新しい美祿市立図書館の構成図

「基本理念」を実現するために必要な「役割」を5つ、それを支えるための「取組」を4つに整理し、「新しい図書館の構成図」を作成しました。それぞれが、連携しながら稼働することで、わたしたちが求める新しい図書館を実現します。



## 新しい美祿市立図書館づくりのための4つの取組

5つの役割を担う図書館をつくりあげていくために必要な「取組」を4つに整理しました。この取組は、美祿市らしいみんなの図書館を実現するための根幹となるものです。

### 取組1 市民みんなで作る、みんなで支える

- 計画段階から運営段階までの様々なプロセスで、市民が力を合わせて、市民のための図書館を協働して育てていきます。
- ボランティアの人材を育成し、図書館運営に当事者意識を持って関わる市民の力を集めます。
- お年寄りから子どもまで、暮らしの知恵を相互に伝えあい、地域づくりの拠点となる活動を育てます。



### 取組2 専門スタッフ等による支援体制を充実させる

- 市民と資料・情報をつなぐ重要な役割を担う司書・職員の適正な配置により、レファレンスサービス等の充実した運営体制をつくりあげます。
- 専門スタッフ等による運営体制をしっかりとつくることで、市民ボランティアの支援活動等が加わりやすい状況を確認し、美祿市らしい市民協働の図書館づくりを目指します。
- 図書館便りなどの発行により、継続的な図書館情報の発信に努めます。
- 市内の小・中学校・高等学校や、保育園、幼稚園などに必要な資料の貸し出しや、図書室環境の整備のサポート、及び、公民館図書室の支援を行います。



### 取組3 ICT環境の整備によりネットワーク体制を整える

- ICTの活用によりネットワーク体制を整え、実空間と情報空間が融合したハイブリッド図書館として充実させます。
- あらゆる世代の人にとって、使いやすさに配慮したICT環境を整備します。
- 県立図書館や、歴史的な流れを共有する周辺市の図書館などとの緊密な連携を図ります。
- 中央図書館と2つの地域図書館、各地区の公民館図書室、小・中学校図書室、幼・保育園とのネットワークにより、身近なところに届く図書サービス「美祿システム」を構築します。
- DX（注）や行政のデジタル化を先導する施設を目指します。

（注）DX：デジタルトランスフォーメーション

「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面で良い方向に変化させる」という概念

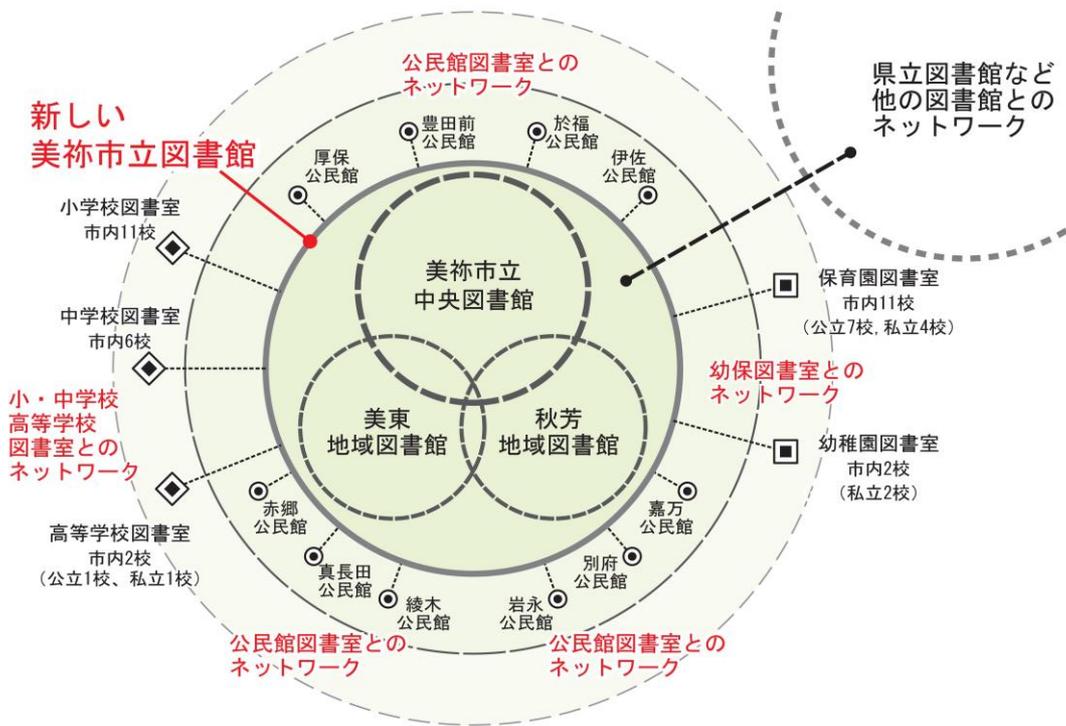
### 取組4 まちなかにつくり、他の施設との融合を図る

- 駅、市役所、他の公共施設、公園などとの関係を重視し、市民が利用しやすい場所につくり、まちなかの賑わいの創出に貢献するよう努めます。
- 関連する他の公共施設などとの複合化や運営上の融合をまちづくりの視点から検討します。
- 公共交通機関、自家用車、自転車、徒歩など、市民がいずれの交通手段でもアクセスしやすい場所につくり、利便性に配慮します。



美東地域図書館、秋芳地域図書館の計画にあたり重視している基本的な考え方

1. 美祢市中央図書館、美東地域図書館、秋芳地域図書館3つの図書館の緊密な連携と、役割分担のもとに新しい美祢市立図書館をつくり上げます。
2. 中央図書館は、美祢図書館の中心としての役割を担うために必要な機能や空間を備え、市民が求めるサービスや図書館活動の中心としての活動を継続的に展開します。
3. 美東地域図書館は、地域の特性や、施設の立地上の特性を踏まえて、子ども・子育てのための機能や空間を重視しながら、地域住民がふらりと立ち寄ることができる、みんなの居場所として、特徴づくりを進めます。
4. 秋芳地域図書館は、秋芳地域の暮らしの中心として、地域住民が気軽に集まって来られる居場所であると同時に、秋吉台、秋芳洞等の観光資源を有する地域の特性を踏まえて、地域内外との交流機能も大切にして、特徴づくりを進めます。



新しい美祢市立図書館の構成

### ○ 美東地域図書館

- ・ 既存部（保健福祉センター）とつながる、増築部（新築）の中央に設けている「市民サロン」が施設の要となり、図書館や、児童クラブ、子育てひろば、多目的ホールなどをつないでいます。
- ・ 「市民サロン」と接する位置に雑誌や新聞コーナー（ブラウジングコーナー）を置き、市民が、気軽に立ち寄り、ゆっくり新聞や雑誌を読むことができる居場所としています。
- ・ 親子読書、読み聞かせ、母親のグループが読書室として利用できる部屋などを設け、子ども・子育てに配慮した計画としています。
- ・ 中央図書館、秋芳図書館との連携システムを強化し、3館が一体となった円滑な運営を目指します。そのため、開架書架は、12,000冊～15,000冊程度の蔵書数とし、テーマを厳選して配架し、選書に特徴を持たせます。
- ・ 中央図書館と連携して、研修会、講演会などを企画し、ホールや、研修室などの積極的な活用を考えます。

### ○ 秋芳地域図書館

- ・ 秋芳地域図書館は、市民ロビーとつながる「ふれあいサロン」と、図書館のブラウジングコーナーとのつながりを重視して、地域住民相互のふれあいや、交流の拠点となる空間を用意します。
- ・ 秋吉台、秋芳洞等の観光資源を有する地域の特性を踏まえて、外部からの観光客が地域を知ることができ、ゆっくり寛いだり、地域住民と交流したりできる場所としての役割を担います。
- ・ 親子で本を読んだり、少人数でゆっくり利用することができる親子読書室を設けます。
- ・ 中央図書館、美東図書館との連携システムを強化し、3館が一体となった円滑な運営を目指します。そのため、開架書架は、12,000冊～15,000冊程度の蔵書数とし、テーマを厳選して配架し、選書に特徴を持たせます。
- ・ 中央図書館と連携して、研修会、講演会などを企画し、ホールや、研修室などの活用を考えます。

どんな機能や使い方が求められているか？

- 本や雑誌を読みながらくつろぐ
  - 本を読む
  - 本を探す
  - バスの時間待ちに本を読む
- 調べ物や勉強をする
  - グループで一緒に調べ物をする
  - テスト期間中、児童・生徒が勉強をする
- 親子で読書を楽しむ
  - 子どもに読み聞かせをする
  - 子ども達が本を読む
- 地域住民の居場所となる
  - 外部の人に休憩スペースを用意する
  - 地域住民相互や、地域住民と外部の人がふれあう
  - 講演会、読書会、映画会などのイベントを行う
- 地域情報、歴史を知る（郷土史・ジオパーク関連）
  - 地域のくらしの情報を伝え合う
  - 外部の人向けの情報発信、観光案内をする
  - 6次産業グループなど、地域で活動する人たちの情報を発信する
- 図書を保管する
  - 地域の貴重な文書を保存する
  - 修繕が必要な本などを一時保管する
- 本の貸し出しや、返却の受付などのサービスを提供する
  - 本や資料、情報を探すサポートを行う
  - 本の整理や図書館だよりの編集など、市民が運営に関わる
  - 司書や図書館職員が業務を行う



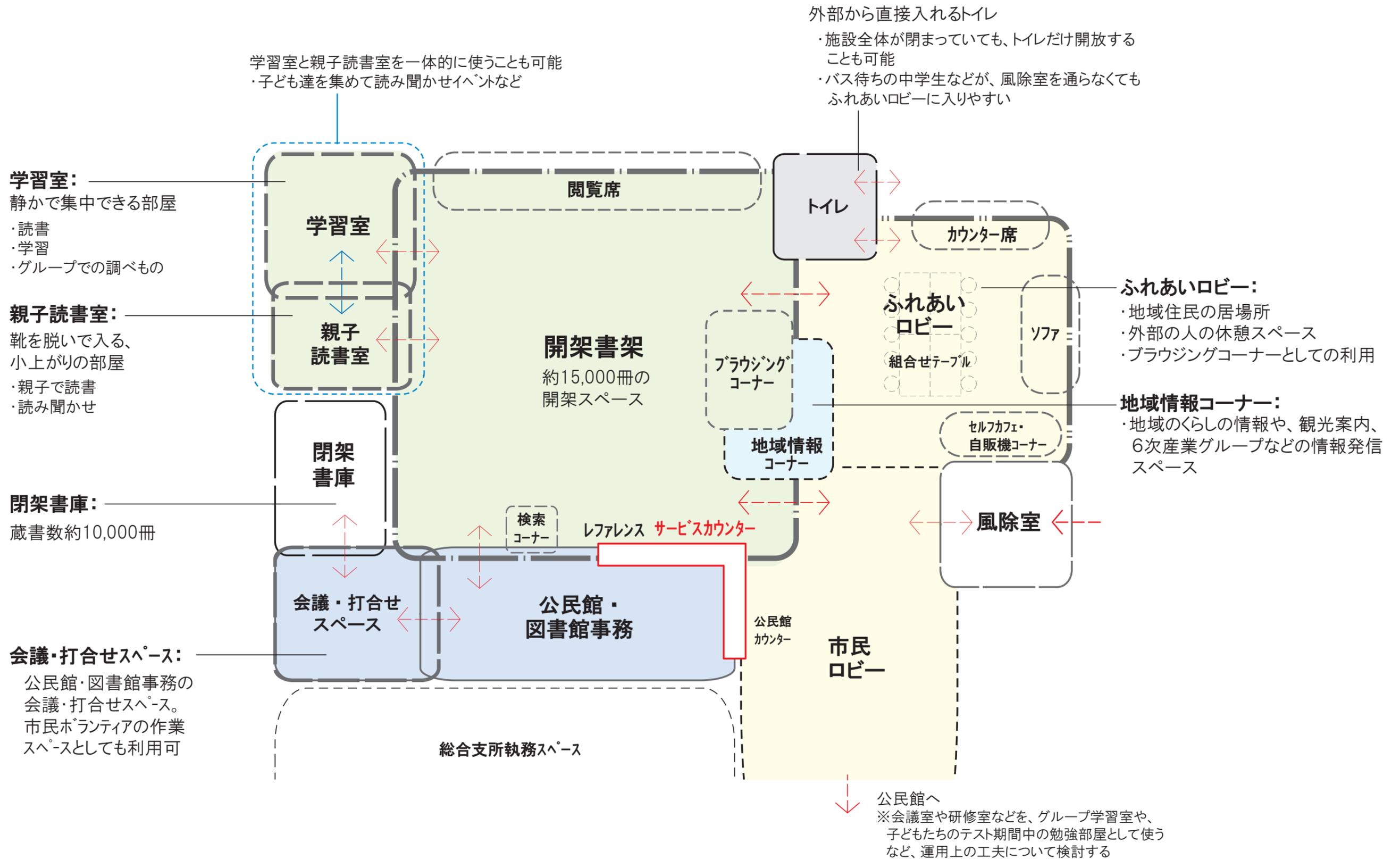
どんな空間(場所)が求められているか？

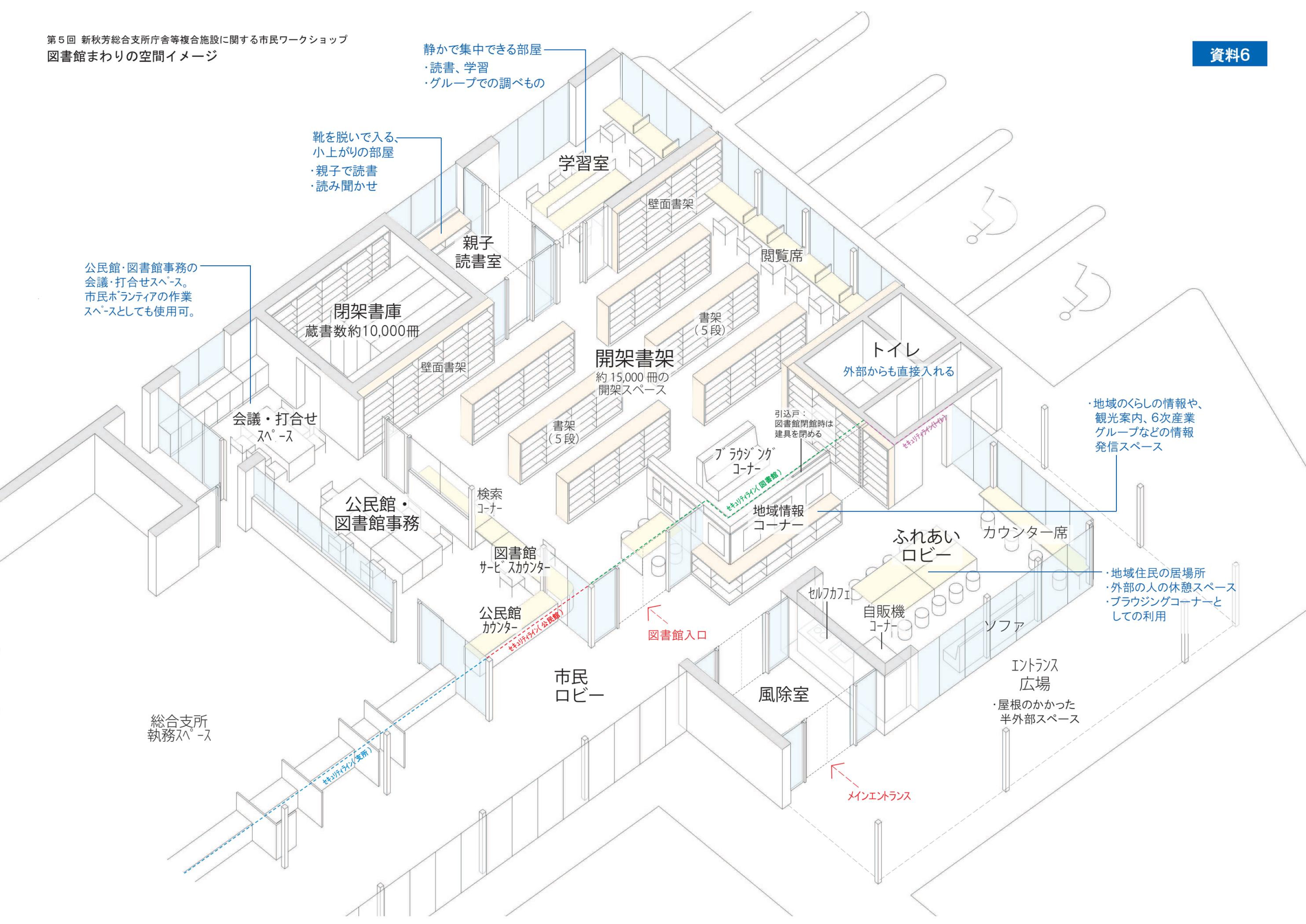
- 一般開架書架
  - 閲覧席
  - 学習室
  - ブラウジングコーナー
- 学習室
  - サロン
  - 小会議室など(テスト期間中、児童・生徒向けに開放を検討)
- 親子読書室
  - ふれあいロビー
  - サロン
- ふれあいロビー
  - 市民ロビー
  - サロン
  - ブラウジングコーナー
- 地域情報コーナー
  - 観光案内コーナー
  - 6次産業グループ情報発信コーナー
- 閉架書庫
  - 収蔵庫(既存秋芳図書館の活用)
- サービスカウンター
  - レファレンスカウンター
  - 会議・打合せ(ボランティア活動)スペース
  - 図書館事務室
- ふれあいロビー
  - 図書検索コーナー
  - レファレンスカウンター
- セルフカフェ、自販機コーナー
  - 多目的ホール
  - 会議室
  - 研修室

凡例

	: 図書館機能
	: 公民館機能
	: 共用部分

※ 図書館機能だけで必要な空間(場所)を用意できない部分は、共用部分や、公民館の部屋を使うなど、運用上の工夫について検討する





静かで集中できる部屋

- ・読書、学習
- ・グループでの調べもの

靴を脱いで入る、  
小上がりの部屋

- ・親子で読書
- ・読み聞かせ

公民館・図書館事務の  
会議・打合せスペース。  
市民ボランティアの作業  
スペースとしても使用可。

会議・打合せ  
スペース

閉架書庫  
蔵書数約10,000冊

学習室

壁面書架

閲覧席

書架  
(5段)

開架書架  
約15,000冊の  
開架スペース

トイレ

外部からも直接入れる

・地域のくらしの情報や、  
観光案内、6次産業  
グループなどの情報  
発信スペース

引込戸：  
図書館閉館時は  
建具を閉める

ブラウジング  
コーナー

地域情報  
コーナー

公民館・  
図書館事務

検索  
コーナー

図書館  
サービスカウンター

公民館  
カウンター

ふれあい  
ロビー

カウンター席

・地域住民の居場所  
・外部の人の休憩スペース  
・ブラウジングコーナーと  
しての利用

図書館入口

セルフカフェ

自販機  
コーナー

ソファ

市民  
ロビー

風除室

エントランス  
広場

・屋根のかかった  
半外部スペース

総合支所  
執務スペース

メインエントランス

